

2023 年初級登山教室

2023.8.26～8.27 沢上谷沢登り

スタッフ L:T 内 (OT) SL:N 森 (OT) T 本 (山友) S 水 (比良雪)
受講生 : S 藤 (山友) T 本 (山友)

8/26 杖石農産物直売所駐車場泊 (前泊)

8/27 沢上谷遡行

【タイム】 7 : 15 入溪 = 7 : 50 五郎七郎滝 = 9 : 03 岩洞滝 = 10 : 12 蓑谷大滝 = 11 : 45 遡行終了

❖ 一口感想 ❖

T 内

「前日午後と夜中に雷雨がありましたが沢の増水はほとんど無く、ナメ沢を無事遡行することができ、良かったと思います。皆さん元気で後ろにつくと付いていくのが大変だったのは私の体力の低下もありますが遅れることなく確実に安定して登れたのは皆さんの力量ですので自信を持ってください。難しい箇所はさほどありませんがどこを登るのか、大滝落ち口へはどのように下降するのかなど特に古い固定ロープを利用する場合に安全上留意することはいくつかあったと思います。今回に限りませんが沢登りについてもクライミングや危険個所の通過など今後の (自身の) 安全につながることを期待します。」

T 森

前泊日、実技実施日とも午後は天気が崩れる予報でしたが、遡行中は晴れ間ものぞき、平穩無事に 2 度目の沢実技を終了できました。

雨後でもそれほど増水も無かったようです。

参加できた受講生が少なかったのは残念でしたが、参加者にはナメの続く沢歩きや個性豊かな大滝を楽しんでもらえたようでよかったです。

蓑谷大滝後に出てくる 15m スロープは、支点が頼りない木に結ばれている写真を見ていたので、全くロープに頼らず登ろうとして 2、3 度滑りました。

上まで登ってみると、2 本のペツルボルトに付け替えられていました。

1 点気が付いた点として、受講生のみなさんは泳ぎやシャワークライミングにも挑戦されていましたが、こちらから見えないと、もし溺れたりしてもわからないので、念のため一言声を掛けてからやっていただくとよかったです。

S 水

今回 3 度目の沢登り。前日の大雨や朝の曇り空。水温や水量など心配なことばかりのスタートだったが、

少しずつ天気も良くなり、きれいな景色や長く続くなめ床、迫力ある滝に魅了されながら楽しく進むことができた。初心者にも優しい沢だったが、高巻きして登り降りするときロープだけに頼らずしっかり見て降りなければいけないところもありクライミングの技術も必要になる。繰り返し経験を重ねながら、今まで教えていただいた事を生かして安全に山行を楽しめるようにしていきたい。宿泊を伴う山行で雷ピカピカ、雨の中のテント泊だったが、悪路の山道も含め長時間、運転してくださったり、おいしい食事を準備していただいたり、皆さんには大変お世話になり感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

Ts 本

今回初めての飛騨沢上谷の沢登りは、なんとといってもその美しさに圧倒されました。遡行のはじめは大小の岩と小滝が続く歩きやすい沢という印象でしたが、五郎七郎の滝では幅 10 数メートルにも及ぶナメが続く景色はとても美しいものでした。その後もだんだんと高度を上げていくにつれてナメが増えてきて、どうしてこんな溪流ができたのかと不思議に思いながら楽しく歩きました。河床も灰色の岩に軽石のような斑点があるものは滑りにくく、赤茶色い岩は少し滑りやすいなど、その変化も興味深いものでした。スケールの大きな岩洞滝、レースのような模様を描いて落ちる蓑谷大滝はこの沢登りならではのビュースポットでした。

受講生の方は滝登りや釜を泳ぐなど積極的にアプローチされていて、そのパワフルさに感心させられました。今回技術的に困難な場所はなかったと思いますが、今後とも慎重にかつ楽しく山行ができるようさらに経験を積んでいきたいと思います。案内いただいたリーダー・講師をはじめ食事担当や運転の交代など、皆さんありがとうございました。

S 藤

大変な美溪を目の前にして終始興奮しっぱなしでした。長いナメ歩きに大感激し、兩岸の濃い緑の樹々の中、岩場の岩を越えて行くのも、楽しい！朝方は寒いくらいだったのが9時頃には気温が上がり、ちょうどよい沢歩きだったと思います。赤い岩石が印象的な岩洞滝では滝裏にも行けて物珍しいことこの上なく、菘谷大滝は大迫力の水流、滝の大ボスの顔をしてました。菘谷大滝までたどり着いた後は、斜度のある斜面をあくせくと登り、この日初めての山登りをしましたが登ったと思ったら下りです。木に括り付けてある古ロープを片手に懸垂下降並みの下りをし、最後のナメ歩きをして、名残を惜しみながら沢上谷に別れを告げました。歩くほどに沢歩きに慣れてきましたが、怪我なく終われて良かったです。テントにも泊れ、一緒に楽しく鍋を食べ、大満足です。

また、1泊2日の山行に2回も違う温泉に入浴し、なんとも贅沢な沢登りでした。ご同行して下さった皆様

本当に有難うございました。

Tn 本

地理感覚が無く、沢上谷はそう遠くないと思っていましたが札幌から道東の釧路までの距離だと言うと結構な遠征だったんだなと分かりました。沢上谷はほぼ滑床の綺麗な沢で、一枚岩の壁に流れる大滝は大迫力でした。スタッフの方々は先頭と最後尾で私達を見守って下さり安心して小さな釜の泳ぎやプチクライミングを楽しむことが出来ました。

しかし、登山は自己責任ですからリスクヘッジ出来る山家でありたいと思います。

皆様、準備の段階から大変お世話になり本当にありがとうございました。

